

平成 27 年 10 月 26 日

10 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、関東・東北豪雨により林地崩壊や林道損壊が多発、生産・搬出とも停止状態の地域多く、10 月に入り回復に向かう。災害により県内の丸太供給は極端に少なく、大手工場は他県から丸太調達に奔走。荷動きは全材種とも強い引合いが続く。入荷量が平年並まで回復するには年明け以降との観測から需給逼迫が当分続くと予想され、価格は全材種で強含み。10-3 月の協定販売価格はスギ柱材 12.5 千円/m³。

群馬の製材工場の操業状況は良好。引続き構造材の注文は多いが羽柄材は少なめ。構造材の荷動きは良く、羽柄材も徐々に動きが出てきており、今後品薄が予想されるアイテムも散見。製品在庫は構造材、羽柄材ともに少なめ。原木の入荷は官材が多く民材は少ない。原木在庫は通常通り。価格は低位安定だがやや上向き。長雨による遅れ回復でプレカットからの構造材の引合い多い。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、米西海岸の山火事関連の伐採規制が終息。製材品市況低迷で工場の原木手当意欲は低く、丸太価格下落が山持の伐採意欲を低下させている。港頭在庫は伐採規制後の新規出材分を積み増せず。ウェアハウザ一社の 10 月積み対日米マツ価格は、前月積比推定 \$ 10 低下。今後の出材減が懸念。8 月の米材丸太の入荷量は 271 千 m³ で本年最高、出荷は 167 千 m³ と続落。在庫は若干増え 1.4 か月分。国内の大手港湾製材工場の製品販売は前年同月比で増加。4 月から続く米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税は、10 月は無税との予想を裏切り 15% で決着。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)9 月の入荷量は 32.2 千 m³(前月比 15.0%増)、出荷量は 26.0 千 m³(同 4.0%減)。在庫量は 55.2 千 m³(同 13.0%増)。米マツ製品の QTR4 の取引がスタート、現地丸太価格はじり高の展開で、産地各社は大幅値上げを提示。垂木 \$ 404/m³(円価 54 千円)、根太・筋交 \$ 425-450/m³(同 56 千円-60 千円)で、国内挽き製品との価格差広がる。荷動きは盆明け後多少活発になったが、為替変動で荷動きが鈍り当用買いに逆戻り。大手の中国木材(株)から値上げのアナウンスなく先行き不透明。現地山火事は沈静化したが、北米の工場用丸太手当は数量少なく値上がり基調で、今後冬場の影響を懸念。

3. 南洋材

サバは天候に不安なく伐採は順調。南洋材の丸太需要は若干減少するも、輸出産地がボルネオ、PNG 以外になく、極端な出荷減少は無い。製材品は各国からの注文少なく、マレーシア国内も市況低迷で生産量は減少。サラワクは丸太出材が回復傾向の中、世界的な丸太の需要減少で在庫量は一時の危機的状态を脱し比較的安定。日本側は需要減を見込み値下げを要請しているが、太材良木は一定の評価を受けており大きな下落は起きていない。PNG ソロモンの原木出材は順調でインドを主に堅調な出荷。価格は高値横這い。丸太の入荷・出荷・在庫とも減少、製材品入荷も減少。丸太の販売は合板・製材用とも変化なく、製材品は全体的に動き悪く当用買い中心変わらず。

4. 北洋材

シベリアは各工場ともアカマツ丸太の入荷無く製材不可の状況。10 月末から再稼働予定だが、天候によっては長引く可能性、日本向けは影響が出そう。中国向け丸太は、グレード・価格とも条件良く買付がやや増加。富山新港の 9 月の丸太入荷はなし、製品入荷は 3.9 千 m^3 。丸太在庫は全国で 3.3 ヶ月分。丸太価格はエゾマツ \$ 140、カラマツ合板用 \$ 130 で保合、アカマツはオファーなし。製材品は現地挽きが AB グレード強含み、C グレード弱含み、国内挽きは保合。荷動きは現地挽きアカマツ 30×40 AB グレード良好で一部品切れ、C グレードは低調。国内挽きは全般的に低調。国内の北洋材製材工場は不採算。稼働状況は一部工場で定時操業。受注状況は住宅部材が依然低迷。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、カラマツ、スギともに横這い。ロシア材は中国等からの引合い低下で引続き弱い、米材は内需好調で現地価格は強いが円安で相殺され横這い、南洋材は変わらず高値で張り付いたまま。8 月の国内総生産量 21.4 万 m^3 のうち針葉樹合板は 19.9 万 m^3 、出荷量は 22.2 万 m^3 とメーカーの減産効果もあり 3 ヶ月連続で出荷が生産を大幅に上回る。在庫量は更に減って 16.3 万 m^3 。販売価格は大手メーカーが針葉樹合板 12mm10 月価格 20 円アップを提示。実需は感じられないものの全体的には好調な出荷。6 月から継続的な値上げで、ある程度高値圏まで来ており、今後は需要の回復が大きなポイント。

国産針葉樹合板は、メーカーの減産継続で全体的な需給は合っているが、木建ルートでは 6-7 月の仮需手当の反動で荷動きは少ない状況。輸入合板の荷動きに変化はなく、商社の 9 月決算で一部安値も見られたが、相場に影響を及ぼすほどではない。先行き国産針葉樹合板は、大手メーカーの 10 月からの値上げ

宣言で、若干の仮需が発生し多少の影響が予想。輸入合板は入荷少なく、相場反転が懸念されるが、マーケットの反応は鈍く様子見が続く。流通在庫は針葉樹合板で一部メーカーとアイテムで不足感。荷余り品目は無く、品薄品目は針葉樹合板（3×6 12mm）、長尺合板で不足感。

6. 構造用集成材

原料ラミナの9月入港は順調だが10月は少ない。QTR4交渉が始まり現地メーカーは5€アップ。国内のラミナ在庫は適正。国産集成材の9月受注は、プレカットが大雨で遅れ、製品受注も少なく先月と同程度。輸入間柱は依然入港少なく引合い強い。販売先行きは今後輸入減少で、多少引合いが増える見込み。在庫は例年並み。価格動向は輸入WW柱が若干居所高く、国産の値上げが続く模様。RW梁桁は米マツKDとの競合や輸入会社の新規参入で、横這いから値上げの勢い。輸入集成材は年末着がWW柱で1本1,900円に上昇、RWも値上がりが見込まれるものの、シュバイ社の参入等需給調整が進まず値上げには勢いが無い。

7. 木材チップ

チップ用原木の入荷は、バイオマス発電に流れ減少している地区と発電所の稼働が遅れ増加している地区がある。針葉樹チップの引合いは依然強い。在庫は減少。輸入チップは広葉樹中心に入荷は変わらず。チップ価格はおおむね横這いで推移。国内チップ工場の動向は、原木の入手状況で稼働率に格差。

8. 市売問屋

国産材の構造材はスギ柱に多少の動き、ヒノキは柱・土台とも動きは鈍い。造作材はリフォーム需要が増え、スギ・ヒノキとも建具用の動き良い。外材の構造材はWW柱が入荷少なく荷動き良好、米ツガ桁も品薄で居所が高く、スギへのシフト見られる。造作材はスプルース等良材の入荷少く対応に苦慮。市日の来場者数に変化ないが、手持ち仕事のある買方が増え、小規模ながら秋需を実感。

9. 小売

国産材の構造材はスギ柱・小割・板、ヒノキ土台・柱とも保合。外材はロシアアカマツ野縁保合、米ツガKD角、平割とも保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルース・ピーラー平割保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹が強保合、輸入ラワン構造用は保合。プレカット加工は一部工場での納期が多少伸びているが順調。各工務店とも幾分回復してきたが偏りが目立つ。

10月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	↗	↘	→
	製材品	↗	→	↗
北洋材	丸太	→	↘	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↗
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↗
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↗
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↘
			米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
			米マツ 桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	(国内挽き)	米マツ 桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	↘
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘
			米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40 AB	→
			アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗